



新収蔵記念

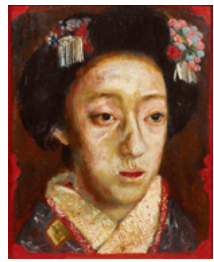
岸田劉生と森村・松方コレクション

と き／1月29日(土)～3月6日(日) 9:30AM～5:00PM
 ところ／京都国立近代美術館(月曜休館)
 京都市左京区岡崎公園内 ☎075-761-4111

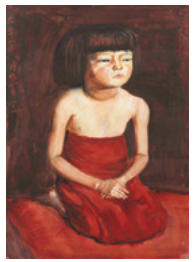
京都国立近代美術館は2021年3月、岸田劉生の作品42点を一括収蔵(全て一人のコレクターの所蔵品で、うち29点を購入、13点を寄贈)した。これにより同館所蔵の岸田劉生作品は油絵24点、水彩画6点、日本画9点を含む約50点となった。劉生画業の初期から晩年まで各時期の画風をそろえ、その流れをたどることができるだけでなく、自画像・肖像画・宗教画・風景画・静物画・風俗画(芝居絵)といった各領域を網羅し、版画や彫刻をも含めた劉生の創作活動全体を展望できる内容となった。



「外套着たる自画像」
 1912(明治45)年



「舞妓図(舞妓里代之像)」
 1926(大正15)年



「麗子裸像」
 1920(大正9)年

このたびの新収蔵を記念して開催する本展覧会では、同館所蔵の岸田劉生作品を全てまとめて公開するとともに、《外套着たる自画像》や《舞妓図(舞妓里代之像)》、《大連星ヶ浦風景》等の旧蔵者だった森村義行と、その弟で《壺と林檎と茶碗》の旧蔵者であった松方三郎や、劉生の最大の支援者だった芝川照吉にも着目し、劉生の顕彰におけるこうしたコレクションの役割をも振り返る。

京博のお正月

新春特集展示・寅づくし—千支を愛でる—

と き／1月2日(日)～2月13日(日) 9:30AM～5:00PM
 ところ／京都国立博物館・平成知新館2F
 京都市東山区東山七条 ☎075-525-2471

皆さんは、虎にどんなイメージを持っていますか？
 野生の虎は日本にはいません。昔から毛皮が輸入されたり、ごく稀に生きた虎が中国や朝鮮半島から連れて来られたりしましたが、江戸時代の終わり頃になるまで、多くの日本人にとって虎は、実際には見ることのできない、絵やお話の中の生き物だったのです。獠猛で神聖な動物と考えられた虎は、魔除けのために描かれました。一方で、誰かの強さや立派さを表すために、おとなしく懐(なつ)いた姿で描かれることもあります。虎のいなかった日本では、猫のように可愛らしい姿でも表現されました。
 日本をはじめとするアジアの人々は、虎にどんな思いを込めて美術に表したのでしょうか。展示室で様々な表情を見せる虎たちの中に、ぜひあなたのお気に入りを見つけてください。



「京博のお正月」チラシ部分

会場		日曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
			(土)	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	(日)	火	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月
京都府 京都文化博物館 中京区高倉通三条上ル 222-0888	2F	年末年始 休館	画家・井澤元一と京都1																														
	3F		近代文化人ネットワーク-太田喜二郎の周辺-																														
	4F		創業200周年記念 フィンレイソン展 -フィンランドの暮らしに 愛され続けたテキスタイル														Kyoto Art for Tomorrow 2022 -京都府新鋭選抜展-																
	5F		J. Arts Bridge 2022 for SDG s							第34回 京都美術文化賞受賞記念展 受賞者: 大野俊明(日本画) ・児玉靖枝(絵画) ・高橋匡太(現代美術) (月曜休館)														第53回 京都書作家 新春展									
	6F		← 令和四年 知ふみ書道 新春書初展																														
	別館																Kyoto Art for Tomorrow 2022 -京都府新鋭選抜展-																
京都学・歴史館 左京区下鴨半木町1-29 723-4831	年末年始休館	府大生∞歴史館 コラボで探る京都学							休館							休館																	

会場		日曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
		曜	(土)	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	(日)	火	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月
京都国立近代美術館 左京区岡崎公園内 761-4111	3F	年末年始 休館日	上野リチ：ウィーンからきたデザイン・ファンタジー															新収蔵記念： 岸田劉生と 森村・松方 コレクション					→3/6										
	4F		2021年度 第4回コレクション展 キュレトリアル・スタディズ15：八木一夫の写真										2021年度 第5回コレクション展										→3/13										
京都国立博物館 東山区東大路七条西 541-1151	年末年始 休館日		特集展示 新収品展																														→2/6
	年末年始 休館日		新春特集展示 寅づくし - 干支を愛でる -																														→2/13
	年末年始 休館日		特集展示 後期古墳の実像 - 播磨の首長墓・西宮山古墳 - コレクションルーム (京都市美術館所蔵品展示) 冬期																														→2/13
京都市 京セラ美術館 左京区岡崎公園内 771-4334	本館 東山 キューブ 別館1F 別館2F	年末年始 休館日	第8回 日展京都展																				令和3年度 京都府学校文化・ 芸術祭-第5回 教育芸術展覧会					成安造形大学 卒業制作展 2022					→3/26
			アートグループ道展															成安造形大学 卒業制作展 2022					KYOTO STEAM 2022 国際アート コンペティション	→2/13									
			京都教育大学 美術科 卒業・修了制作展 2022										成安造形大学 卒業制作展 2022																				
			日本画ん展 (日本画)										第25回国画会 京滋奈作家展 (洋画)					第60回京都銅版画 協会展 (版画)															
京都府立 文化芸術会館 河原町府立病院前 222-1046	1F	年末年始 休館日											第25回国画会 京滋奈作家展 (洋画)					第60回京都銅版画 協会展 (版画)															
	2F												第25回国画会 京滋奈作家展 (洋画)					FEB展 (洋画)															
	3F																																
京都府立堂本印象美術館 北区平野上柳町26 463-0007	年末年始 休館日		生誕130年 描く・飾る・デザインする - 堂本印象の流儀 -																														→3/21
何必館・京都現代美術館 東山区祇園町北側 525-1311																																	
高島屋 下京区河原町四条下ル 221-8811	画廊	年末年始 休館日	高賀会 (日本画・工芸・書)										佐々木 麦展 -環 kan- (洋画)					柳下 季器 作陶展					「京都 日本画新展」 受賞者三人展 -石橋志郎 池上真紀 楊曉淇-					→2/1					
	美術工芸 サロン		春を彩る茶道具展										陶・今井 眞正展 -喜土愛洛-					御殿玩具 林 美木子展					川尻 潤展 -工芸として。現代美術として。-					→2/1					
	グランド ホール		信楽 小牧 鉄平 作陶展										木彫雛人形展					川口 英利奈 陶展					→2/1										
大丸 中京区四条高倉 211-8111	画廊	年末年始 休館日	桜井敬史展										傘寿記念 勝尾青龍洞・龍彦 父子展					金丸悠児展					〜うつろいの庭〜 五月女佳織 日本画展					→2/1					
	アート サロン		アートクリアランス										清水信行 日本画展										Essence展					→2/1					
	ミュージアム		休業日・営業時間・催事内容などが変更になる場合があります。公式HPでご確認ください。																														
中信美術館 上京区下立売油小路東入 417-2323											第34回京都美術文化賞 受賞記念展示 (京都文化博物館開催)																						
並河靖之七宝記念館 三条通北裏白川筋東 752-3277	2022年度保存修復事業に伴う長期休館 (2023年春まで)																																
美術館「えき」KYOTO JR京都伊勢丹7F 352-1111	能面100 The Art of the Noh Mask (会期中無休)																														→2/6		
会場	日曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
	曜	(土)	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	(日)	火	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月	
芦屋画廊 KYOTO 左京区 頭町 357-8 754-8556	常設展																																
アートギャラリー博宝堂 左京区岡崎神宮道東側 771-9401	ウインドー作品展 - 曾根茂 -										常設展 (月曜休廊)										神宮道上ル下ル アート・カルチャー												
アートギャラリー鵬休堂 東山区東山五条上ル西入ル 541-3805	常設展 (北側店舗)																																
アトスペース繁 左京区北白川道分町1-8 080-5711-7431	常設展																																
アトスペース柚 (ゆう) 東山区二条通東山西入 090-6916-5353											エト・アール展「寅年」 (11日・17日休廊)																						
綾小路ギャラリー武 下京区綾小路高倉東入ル 351-4787	貸ギャラリー受付中																																
芸艸堂画廊 中京区寺町二条下ル 231-3613	木版画常設展 (貸画廊受付中)																																
絵草子 東山区新門前通東山西 551-9137	浮世絵・新版画常設展																																

企: 企画および常設を中心に活動する画廊 貸: 貸画廊

何必館コレクション

村上華岳・山口薫・北大路魯山人展

と き／1月7日(金)～2月27日(日) 10:00AM～6:00PM
ところ／何必館・京都現代美術館(月曜休館 但し1/10は開館)
京都市東山区祇園町北側271 ☎075-525-1311



北大路魯山人「つばき鉢」
1938年

このたび「村上華岳・山口薫・北大路魯山人展」を開催いたします。

この3人の作家は、何必館・京都現代美術館のコレクションの柱であり、また、当館が長年コレクションを続けてきた、日本美術において非常に重要な作家達です。

本展では、若くして国画創作協会のメンバーとして活躍し、その独自の画業から「線の行者」といわれる日本画家、村上華岳(1888～1939)。秀でた色彩感覚と造形的感性によって多くの作品を遺し、作品がたた

える豊かな詩情から「詩魂の画家」と評された洋画家、山口薫(1907～1968)。書家としてその芸術活動をスタートさせ、「獨歩」の精神を持って、美術工芸のあらゆる分野で作品を生み出した北大路魯山人(1883～1959)。個性溢れる3人の作家を中心に、約60点の作品を、全館を使い展覧いたします。



山口薫
「おぼろ月に輪舞する子供達」
1968年



村上華岳「太子樹下禪那」
1938年

○記念出版 「開館30周年 村上華岳」 3,500円
「山口 薫 詩魂の画家」 3,500円
「和の美を問う 北大路魯山人」 3,500円

第34回

「京都美術文化賞」受賞記念展

と き／1月14日(金)～1月23日(日) 10:00AM～6:00PM
ところ／京都文化博物館5階展示室
京都市中京区三条高倉 ☎075-222-0888

公益財団法人中信美術奨励基金の顕彰事業である「京都美術文化賞」受賞者による展覧会です。「京都美術文化賞」は、美術の創作活動を通じて京都府市民の精神文化向上に多大な貢献が認められた方に対して毎年贈呈される賞であり、1988年の第1回に始まり今年で34回目となります。

本展では、第34回京都美術文化賞を受賞された大野俊明氏(日本画)、児玉靖枝氏(絵画)、高橋匡太氏(現代美術)の作品を展示し、広く皆様にご覧いただきたいと思っております。

また、特別展示「京都美術文化賞のあゆみ」として、歴代京都美術文化賞受賞者(第7回～第9回受賞者9名)の作品を当財団のコレクションより公開します。

【受賞者略歴】



大野俊明氏(日本画)
1948年京都市生まれ。
'71年京都市立芸術大学美術学部日本画科卒業、'73年京都市立芸術大学美術専攻科日本画専攻修了。'72年より京都・二条城二の丸御殿障壁画模写事業に参加し、現在に至るまで古画の模写に尽力している。成安造形大学名誉教授・同客員教授、京都日本画家協会会員



児玉靖枝氏(絵画)
1961年神戸市生まれ。
'86年京都市立芸術大学大学院美術研究科絵画専攻修了。近年は日常の中で感受する非日常的光景をモチーフとし、具象のなかの抽象性を際立たせることで存在の気配を喚起させる絵画を描きながら「まなざし」を問う試みを続けている。京都市立芸術大学美術学部特任教授。



高橋匡太氏(現代美術)
1970年京都生まれ。
'95年京都市立芸術大学大学院美術研究科彫刻専攻修了。光や映像によるパブリックプロジェクトなど幅広く国内外で活動を行っている。建築物へのライティングプロジェクトは、ダイナミックで造形的な光の作品を創り出す。また大規模な参加型アートプロジェクトも数多く手がけている。

第30回 折々の作家たち展

と き／1月10日(月)～1月23日(日) 12:00～7:00PM(最終日～5:00PM)
 ところ／ギャラリー・ヒルゲート1階・2階 ※1/17(月)休廊
 京都市中京区寺町三条上ル ☎075-231-3702

・ギャラリーからのコメント

'93年以来恒例の当展は、現役作家の新作の他、物語作家となられた方の遺作や当画廊のコレクションとともに展示させていただくものです。平面・立体ともに多彩な125人の先生方の小品を展示。



野見山暁治「いつの日か」



安野光雅
「梶井基次郎の『檸檬』より」
(朝日ジャーナル増刊号表紙)

〈出展者〉

- | | | | | | | | | | | | | |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 赤松玉女 | 秋口浩 | 麻野雅 | 安野光 | 池田泰 | 生田充 | 石母な | 伊勢信 | 一居孝 | 市井弘 | 井上隆 | 伊庭新 | 今尾仁 |
| 岩井 | 島頭 | 海野永 | 榮森大 | 大奥甲 | 貝勝加 | 門上川 | 貴岸木 | 来代 | 野晴 | 厚大 | 治輝 | 芳啓 |
| 香精 | 敬大 | 良治 | 輝芳 | 義浩 | 則子 | 流志 | 三介 | 絵司 | あぢ | さ | 近 | 小 |
| 北村 | 木下 | 木村 | 日日 | 栗黒 | 黒田 | 小林 | 山 | 藤 | 美克 | 正直 | 雅彰 | 富紀 |
| 佳晋 | 朗隆 | 恒起 | 生樹 | 夫彰 | 暢子 | 照彦 | 生子 | 子修 | 真厚 | 嘉貞 | 良和 | り征 |
| 齋藤 | 斎斎 | 斎坂 | 佐久 | 信謙 | 角田 | 田中 | 谷千 | 司 | 藤藤 | 藤爪 | 久井 | 原谷 |
| 修成 | 博生 | 明夫 | 和子 | 子三 | 彦雄 | 子一 | 子修 | 修 | 鶴中 | 長中 | 西久 | 松山 |
| 田井 | 尾谷 | 林原 | 久松 | 山久 | 山本 | 川 | 田 | 林 | 憲英 | 紀治 | 忠友 | 吉 |
| 次夫 | 壽郎 | 良雄 | 花雄 | 喬徹 | 治志 | 美か | 哲夫 | 夫 | 平 | 蛭廣 | 福藤 | 古本 |
| 岡田 | 田島 | 士谷 | 平野 | 一 | 田越 | 生谷 | 淵木 | 丸 | 靖 | 美政 | 菊美 | 美子 |
| 弘均 | 子生 | 隆伸 | 美子 | コ枝 | 子徳 | 歩判 | 哲里 | マ | 丸 | 木山 | 浦浦 | 上村 |
| 雄 | 勇全 | 子石 | 夫亮 | 三 | 章 | 恂 | | | 丸 | 三 | 水 | 三 |
| 康 | 須磨 | 子右 | 夫亮 | 三 | 章 | 恂 | | | 丸 | 三 | 水 | 三 |
| 雄 | 勇全 | 子石 | 夫亮 | 三 | 章 | 恂 | | | 丸 | 三 | 水 | 三 |

木下 晋 展

と き／1月25日(火)～2月6日(日) 12:00～7:00PM
 ところ／ギャラリー・ヒルゲート1階 ※1/31(月)休廊
 京都市中京区寺町三条上ル ☎075-231-3702

・ギャラリーからのコメント

2006年以来5度目の木下晋展を企画致しました。今展では、木下先生は主に妻君子さんをモデルにした作品を描いて下さっています。23歳の頃に周囲の反対を押し切って結婚。以来苦楽を共に生き抜いてこられた君子さんが病に倒れられてからは、木下先生の介護しつつ描く生活が続いています。見つめる目と、覚悟をもって見つめ返す目。いつも木下先生の作品に感じられる対象との緊張関係とともに、そこには深い愛が刻まれているように感じられます。

10Hから10Bの22段階の濃淡を駆使して描かれるモノクロームの奥深い世界をどうぞお楽しみ下さいませ。

ギャラリー・ヒルゲート

木下 晋 (Susumu KINOSHITA)

- 1947年 5人姉弟の次男として富山県に生まれる。
- 1965年 18歳 自由美術協会展に油彩画《カルタとり》が入選。
- 1969年 22歳 8月、村松画廊での初個展で、評論家・瀧口修造と出会う。
- 1975年 28歳 木下晋油絵展(現代画廊・東京)('77・'79・'81・'83・'85)
- 1983年 36歳 2月14日、小林ハルをモデルに制作を開始する。
現代のリアリズム展(埼玉県立近代美術館)
- 1985年 38歳 ニューヨークで荒川修作を訪ねる。荒川のアドバイスにより、意識的に母をモデルにした作品を描き始める。
- 1995年 48歳 戦後文化の軌跡1945-1995(目黒区美術館・東京、広島現代美術館、兵庫県立近代美術館、福岡県立美術館)
- 1997年 50歳 木下晋 えんびつの世界 1981~1997(池田20世紀美術・静岡)
- 2004年 57歳 六本木クロッシング:日本美術の新しい展望2004(森美術館・東京)
- 2005年 58歳 4月 瞽女・小林ハル死去。この年の秋、偶然の機会から元ハンセン病の詩人桜井哲夫を訪ね、その後モデルを依頼する。
- 2012年 65歳 木下晋展 祈りの心(平塚市美術館・神奈川、砺波市美術館・富山、足利市立美術館・栃木)巡回
- 2016年 69歳 1月~3月、「エック・ホモ―現代の人間像を見よ―」(国立国際美術館・大阪)
- 2017年 70歳 6月~8月、「ニッポンの写実そっくりの魔力展」(北海道立函館市美術館 他三館巡回)
8月~11月、「ヨコハマトリエンナーレ2017展」(横浜市美術館 日本代表作家)
7月~8月、「戦後日本文化発展の光と影展」(リアスアーク美術館(宮城県気仙沼市))
- 2019年 72歳 12月、『いのちを刻む―鉛筆画の鬼才、木下晋 自伝』編著者:城島徹(藤原書店刊)を出版。



木下晋「仰臥II」(鉛筆画)

会場	日曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
		(土)	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	(日)	火	水	木	金	土	(日)	(日)	月	火	水	木	金	(日)	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月
延寿堂ギャラリーソフォア 中京区二条寺町東入 211-5552		冬期休業					常設展 (ガラス・陶磁器・織など) (木曜定休)												休		浅井睦子展 (陶)												
御池画廊 北区小山上北上総町20-2 492-3083		冬期休業					洋画・日本画作品展 (日祝休廊)																										
カギムラ画廊 中京区河原町四条上ル東入 221-2996		日本画・洋画常設展																															
画廊後素堂 中京区新町丸太町下ル 231-0938														小川正雄 日本画展																			
画廊たづ 東山区神宮道三条西入ル 771-8225		冬期休業					日本画常設展 (日祝休廊)																										
ぎおんギャラリー八坂 東山区祇園町南側 525-1717							洋服とアクセサリ ラプリーローズ 廣瀬光美					ご予約受付中																					
喜聞堂アトスペース余花庵 中京区寺町通御池上ル 212-9793		休廊					屏風絵・古美術常設展												→2/20														
ギャラリーM 中京区蛸薬師高倉西 221-0979							「音楽を絵にする」展 (ニューイヤーコンサート) 「旅を絵にする、ヨーロッパ・中東編」原画展 (松本祐住)												同時開催														
ギャラリー祇園小舎 東山区四条通糺手東入 551-3828							京もの発信 「みほれ×ひろマル シェ」			福井泰三 作陶展			着物 フリーダム			たにもとの「今」 彷徨の日々																	
ギャラリー吉象堂 中京区三条柳馬場東 221-3955		貸ギャラリー受付中																															
ギャラリーCreate洛 中京区丸太町通堺町角 708-7898		冬期休業					創造する画家たち展-ギャラリー企画・第6回- (洋画) 生駒泰充・大森翠・斎藤博・進藤博子・高井道夫 多納三勢・深沢軍治・野村久之 (月曜休廊)																										
ギャラリーK 中京区寺町二条下ル西側 255-7518		常設展																															
ギャラリー恵風 左京区丸太町東大路東入 771-1011	1F 2F	冬期休業					新春企画展 小島徳朗展 (平面)					新春企画展 三橋遵展 (染色)					→2/6																
ギャラリー胡々湾 東山区神宮道三条上ル 090-8367-1460		貸ギャラリー受付中												神宮道上ル下ル アート・カルチャー																			
会場	日曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
		(土)	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	(日)	火	水	木	金	土	(日)	(日)	月	火	水	木	金	(日)	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月
ギャラリー佐野 中京区寺町蛸薬師西北角 221-2767		冬期休業																															
ギャラリー三条祇園 中京区寺町通御池上ル 221-6401																																	
ギャラリー白川 東山安井東一筋目南 532-2616		冬期休業												舟越桂版画小品展-1987~1999まで (月曜休廊、12:00~17:00) (貴重な初期版画)					→2/26														
ギャラリー翔 左京区北山通下鴨中通東 724-8154							アートふくろう展 (絵画、陶器、染色、他) (期間中無休)					ヴィジヨニア展 (絵画 他) (月曜休廊)																					
ギャラリー16 東山区三条通白川橋西入上ル 751-9238		冬期休業					気がふれて vol.2 (月曜休廊) 日高理恵子・安喜万佐子・山部泰司												→2/3														
ギャラリーSpace妙 左京区松ヶ崎総町1-1 090-6605-0656		貸ギャラリー受付中												口覚反応実験展 「サクサク」																			
ギャラリー創 中京区河原町御池上ル 251-0522		日本画・洋画・古書画常設展																															
ギャラリーTAJIRO 東山区糺手通新橋下ル 0774-27-1733		貸画廊受付中																															
ギャラリー鉄齋堂 東山区新門前東山西 531-6164		日本画・洋画常設展																															
ギャラリー富小路 下京区富小路糺小路下ル 090-7095-0576		冬期休業																															
ギャラリーなかむら 中京区姉小路河原町東 231-6632		常設展																															
ギャラリー中井 中京区木屋町三条上ル 211-1253		冬期休業												京都府私立中学 高等学校 美術工芸研究会																			

【他所で見たい展覧会】

- 「メトロポリタン美術館展-西洋絵画の500年-」展：11月13日(土)~1月16日(日) 大阪市立美術館 (大阪市天王寺区茶臼山町1-82 ☎06-6771-4874)
- 「開館25周年記念・みうらじゅんマイ遺品展」：12月18日(土)~3月6日(日) アサヒビル大山崎山荘美術館 (乙訓郡大山崎町銀原5-3 ☎075-957-3123)
- 「ライデン古代博物館所蔵・古代エジプト展」：11月20日(土)~2月27日(日) 兵庫県立美術館 (神戸市中央区脇浜海岸通1-1-1 ☎078-262-1011)
- 「杉浦非水~時代をひらくデザイン」展：11月23日(祝)~1月30日(日) 三重県立美術館 (三重県津市大谷町11 ☎059-227-21000)
- 「コレクター福富太郎の眼」展：11月20日(土)~1月16日(日) あべのハルカス美術館 (大阪市阿倍野区阿倍野筋1-1-43 ☎06-4399-9050)
- 「限らない世界・村上三郎展」：12月4日(土)~2月6日(日) 芦屋市立美術博物館 (兵庫県芦屋市伊勢町12-25 ☎0798-38-5432)
- 「野口謙蔵・生誕120年展」：12月7日(火)~2月20日(日) 滋賀県立美術館 (大津市瀬田南大萱町1740-1 ☎077-543-2111)
- 「受贈記念・柳原隆夫 花喰の器」展：8月11日(水)~2月6日(日) 大阪市立東洋陶磁美術館 (大阪市北区中之島1-1-26 ☎06-6223-0055)

会場		日曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
		曜	(土)	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	(月)	火	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月
企	ギャラリー白梅園 北区北野上白梅町63 461-0427		白崎信子 ガラス作品常設展																														
貸	企	企	1F		年末年始休廊										「第30回 折々の作家たち展」 安野光雅・司修・野見山暁治・丸木位里・丸木俊 他 物語作家を含む100余人の作家の平面・立体の小品 (月曜休廊)										木下晋展(鉛筆画) (~2/6)				休廊				
	企	企	2F																														
	企	企	3F																														
	企	企	4F		冬期休廊										京都芸術大学総合 造形コース3回生 進級作品展					Gen展(立体・平面) 仲原万利穂(写真)													
	企	企	5F																														
企	企	企	二人展(月曜休廊) 百瀬雅子…草木染ニット/クリ・ボテラ…タイト																														
企	企	企	「龍馬と酢屋」常設展																														
企	企	企	大道正男「陶」展(水曜休廊)										常設展																				
企	企	企																															
企	企	企	絵画・工芸品 在庫処分										冬期休廊					常設展					休廊	神宮道上ル下ル アート・カルチャー				休廊					
貸	企	企	貸画廊受付中																														
企	企	企	京都市立芸術大学資料館収蔵品活用展 mamoru「おそらくこれは展示ではない(としたら、何だ?)」(1/10以外の月曜休廊)																														
企	企	企	休館					マヤ・ワタナベ Suspended states																									
企	企	企	京都における幼稚園のあゆみ(水曜・休館)																														
貸	企	企	冬期休館																														
	企	企	1F		清永安雄作品展										佐藤泰輔写真展										神宮道上ル下ル アート・カルチャー								
	企	企	2F																														
企	企	企	1F		休館	(木曜休館)																											
	企	企	2F																														
貸	企	企	年末年始休廊					京都市やましな 学園生活介護事業 利用者絵画展					第16回 ゆう美術研究所 作品展					テレイドスコープ 写真展					閉館時間・展示期間が変更になる 場合があります。 当館HPにて最新情報をご確認ください。										
貸	企	企	休廊																														
貸	企	企																															
企	企	企	冬期休廊										彫刻家 坂田源平 ミニ絵画“エカルタ”展 (会期中無休)																				
企	企	企	常設展															嚙矢祭-其之百十六-上岡 奈苗展 Overflowing colors -あふれる彩り-															
企	企	企	常設展/美術刀剣・刀装具・兜・鎧など武具全般																														
企	企	企	冬期休館					日本画・洋画常設展																									
企	企	企	染に導かれて 新庄幸子展					休館	小田賢 日本画展					休館	悠画会 日本画展					休館	京 ちいさな宇宙展												
企	企	企	年末年始休廊										明治・大正・昭和名作発掘品展(日・月休廊) 虎を描いた名作、めでたい絵、富士の名作などさまざまに																				
企	企	企																															
企	企	企	冬期休廊					常設展																									

→3/21

→2/6

【京都画廊連合会ニュースの購読予約受付中】1年間¥2,000円です。毎月末にお手紙に届けられます。申込みは星野画廊(☎771-3670)まで振込用紙をご請求ください。
 【短信】京都画廊連合会ニュースの展覧会紹介記事で掲載している作品の画像は、当画廊のホームページ(<http://www.kyoto-art.net/>)では、
 すべてカラー図版として掲載しています。どうぞお楽しみください。